



安心できる観光地を目指し、新型コロナウイルスワクチンの職域接種を行う 白浜温泉旅館協同組合様を金融面からサポート

商工中金は、地方公共団体や関係機関等と連携しながら、「地域経済の活性化」や「地域雇用の創造」に貢献する中小企業組合等を積極的にサポートしています。

商工中金（和歌山支店）は、白浜温泉旅館協同組合様（本社：和歌山県西牟婁郡白浜町、理事長：沼田 久博様）に対し、新型コロナウイルスワクチンの職域接種に必要な資金 700 万円を融資しました。本件は、商工中金と和歌山県中小企業団体中央会が連携し、組合及び組合員の事業を円滑に支援するための「中央会推薦貸付制度」を活用しています。

同組合は、関西有数の海水浴場・白良浜を擁する白浜温泉街の旅館事業者を組合員とし、白浜地区の魅力向上や各種PRを担うとともに組合員の生産性向上を後押ししてきました。

今回、同組合は、構成施設の従業員等約 1,300 人を対象に新型コロナウイルスワクチンの職域接種を計画しました。職域接種を通じ、安心できる観光地を目指すとともに白浜地区の観光業の復活に繋げていきます。

商工中金は、現地訪問やヒアリングを通じた事業性評価を実施。同組合の取組みが、組合員の成長を後押しするとともに観光地「白浜」ブランドの価値向上に資するものと考え、和歌山県中小企業団体中央会と連携し、新型コロナウイルスワクチン接種に必要な資金を融資しました。また、商工中金は、南海トラフ巨大地震の影響が懸念される同組合に対し、独立行政法人中小企業基盤整備機構を紹介しつつ、連携事業継続力強化計画の策定をサポートしています。

商工中金は、持続可能な社会の実現に向けて、中小企業の皆さまの「SDGs（持続可能な開発目標）」に貢献する取り組みを積極的にサポートしてまいります。

【白浜温泉旅館協同組合様の概要】

所在地	和歌山県西牟婁郡白浜町 1650-1
代表者	沼田 久博様
出資金	312 万円
組合員数	23 施設社（2021 年 8 月現在）
設立	1947 年 3 月
業種	事業協同組合、共同購入他



【真っ白な砂浜、白良浜（しららはま）】